

日本産科婦人科学会データベース登録事業(周産期登録・婦人科腫瘍登録)に関する患者さんの情報の研究利用について

現在、三重大学医学部附属病院 産科婦人科・高度生殖医療センターでは、日本産科婦人科学会の研究である「日本産科婦人科学会データベース登録事業(周産期登録・生殖に関する登録・婦人科腫瘍登録)」に参加しています。

この研究の目的は、本邦における産婦人科領域の診療の現状(不妊、妊娠、分娩、悪性腫瘍など)を把握することで、さまざまな課題を抽出し、より良い産婦人科医療に反映することを目的としています。

この研究のため、当院で不妊治療を受けられた方、出産された方、および婦人科悪性腫瘍で治療を行った方を対象に下記の項目についての調査を行っています。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報(合併症の有無、治療経過など)のみです。

患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

【利用し、又は提供する情報の項目】

①各領域共通

患者の年齢

②周産期領域(妊娠・分娩関連)

入院理由、不妊治療の有無、母体紹介の有無、妊娠・出産回数およびその内訳、喫煙飲酒歴、分娩週数、分娩方法、麻酔法、分娩胎位、誘導・促進の有無および方法、胎児心拍パターン分類、産科合併症、母体処置内容、出産体重、性別、Apgar 値、臍帯動脈 pH、児体格、児疾患名、胎児付属物所見、産科既往歴、母体基礎疾患、母体感染症、母体使用薬剤、母体転帰、児の転帰

③生殖領域(不妊治療関連)

適応となった不妊原因、卵巣刺激または周期管理の方法、体外受精か顕微授精か、治療に用いたのが新鮮胚か凍結胚か、精子回収法と精子所見、採卵数、受精卵数、凍結胚数、移植胚数、胚移植時の発育段階、黄体期管理の方法、副作用の有無、妊娠成立の有無、確認された胎児数、出産児数、分娩様式、生産死産の別、児の所見・予後

④婦人科悪性腫瘍領域(婦人科癌関連)

疾患名、治療開始日、進行期分類(FIGO 分類および TNM 分類)、組織分類、局所進展、所属リンパ節転移、遠隔転移、治療内容と手術術式、予後

上記の内容に関して、当科でデータベースを作成し、1年ごとに本研究の代表であります日本産科婦人科学会(代表研究者:藤井知行)に提出され、厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

本研究の対象になると思われる方、またはその代理人の方が「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合は、研究対象者が識別されるような診療情報の提供を停止することができます。その場合は、各施設の本研究の実務担当者へご連絡いただくか、下記へお問い合わせください。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

より多くの情報を収集、解析することで、データベースの正確性が向上し、有益な知見が得られることが期待されます。今後の産婦人科医療の発展のためにも、1人でも多くの皆様のご協力をお願いいたします。

<お問い合わせ先>

三重大学医学部附属病院 産科婦人科・高度生殖医療センター
研究責任者 池田智明 連絡先 059-232-1111(代表)